



市議会議員 谷津えみ

その「香り」で困っている人がいます

家庭で使用する洗剤や柔軟仕上げ剤に、強い香りの商品が出回っています。一方、電車のなかや隣家の洗濯物、学校給食のエプロン等において体調不良や不快を訴える人が増えています。

香害対策アクションに取組む

神奈川ネットに香料による被害相談が寄せられ、2015年には神奈川県取組状況を調査後、啓発ポスターを作成して公共施設をはじめ、連携団体の施設等への掲示を進めてきました。



香り成分表示が必要

香りの感じ方は人それぞれですが、香りの問題は、香料の成分表示が義務付けられていないことが大きな課題です。柔軟仕上げ剤やヘアケア剤、消臭除菌剤などに含

まれる香料は、化学物質に由来する成分が原料となっていますが、表示義務がないため、メーカーの企業秘密となっており、成分を知ることができません。

厚生労働省と意見交換

「柔軟仕上げ剤など、家庭用品に含まれる香料の成分表示等を求める要望」署名を全国で3万57筆集め、昨年12月14日、関係省庁と意見交換を行いました。香料による健康被害の内容からは、化学物質過敏症を引き起こしていると推測されますが、化学物質過敏症に対し、厚生労働省は科学的見地が確立していないので、香害についても対策を考えていないと答えています。



まず被害の実態把握とともに、香料の成分表示を求めています。

*「香害」とは

柔軟仕上げ剤や合成洗剤、ヘアケア剤、消臭除菌剤など人工で過剰な香りに含まれる化学物質により、めまいや吐き気、思考力の低下などの症状を誘発するもので、化学物質過敏症の原因の一つとされている。

【要望項目】

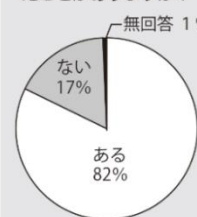
- ①「香害」で苦しむ人がいることを周知徹底し、ポスターなどで香料自粛に向けた啓発をしてください。
- ②柔軟仕上げ剤、消臭除菌スプレーを「家庭用品品質表示法」の指定品目としてください。
- ③香料の成分表示を義務付けてください。
- ④国民生活センターに被害の実状に合わせた専用窓口を設置するとともに、「香害」の相談窓口を各都道府県に設置してください。

香害アンケート

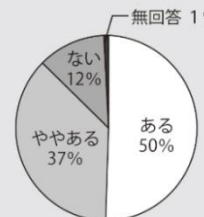
回答者数 1,829

神奈川ネット調査

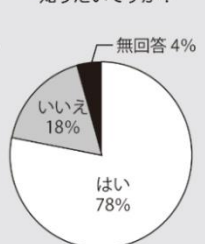
Q お店や車内で「香り」について不快な思いをしたことがありますか？



Q「香り」について不安がありますか？



Q「香り」成分について知りたいですか？



神奈川ネットは地域政党です

3つの政治理念

- ①政治への市民参加をすすめます
- ②生活者の政治をすすめます
- ③市民民主主義をそだてます

5つの政治姿勢

- ①カンパとボランティアで政治と選挙をおこないます
- ②活動を広く公開します
- ③政治への寄付をひろげます
- ④へんだなと思ったらミニフォーラムを開きます
- ⑤議員は2期8年で交代します

ネット藤沢 会員募集中

●年会費 2,000 円

●会費・カンパ振込先(郵便振替)

口座番号 00230-5-36227

口座名 神奈川ネットワーク運動・藤沢



議会報告



初めての藤沢市議会

一般質問の準備に追われながら6月定例会が始まりました。議会の基本ルールもままならない緊張の中、議長と言って手を挙げてから発言しなければならないのですが、そのタイミングを間違えたり、忘れてたりといった失敗もしました。市民の代弁者である議員だからこそ、その声を届けるチカラは大きく、声を出し続けることの大切さを強く感じました。いろいろな考え方があり、視点の豊富さに驚くばかりでした。

一般質問を終えて

選挙期間中、街頭演説をする中で、当事者の方と出会い、改めてその実状を知ることができ、自身の理解が深まり説得力も高められました。化学物質過敏症発症者の代弁者として私が議会で発言したことを大変喜んでもらえ、私にとっても大事なつながりが生まれたことに感謝です。

所属委員会と議会構成

谷津英美（会派は 民主・無所属クラブに所属）
子ども文教常任委員会
藤沢都心部再生・公共施設再整備特別委員会
36人中6人の女性議員（昨年度同様の男女比）

【議会の会派構成】

民主・無所属クラブ(10)、市民クラブ藤沢(9)
ふじさわ潮風会(7)、藤沢市公明党(5)、日本共産党藤沢市議会議員団(4)、アクティブ藤沢(1)
* 民主・無所属クラブは最大人数の会派です

傍聴席より

初めて傍聴に足を運んだ。とても静かで傍聴は5名。市政に積極的に参加する人は思いの外少ない。谷津議員の一般質問は周知の少ない「香害」。化学物質過敏症の方は漂う香りで公共施設へ行けない等、日常生活に影響が出ている。生活の困りごとを少数派の意見もストレートに質問し市に訴えてくれる議員がいることが嬉しくなった。「香害」が多くの人に認知されることを願い、今後の市の対応に期待したい。民主主義が危うい社会でも、暮らしの困り事に寄り添う議員がいれば一緒に声をあげて行くことが出来る。多くの方が傍聴に行き市政に関心を持ってもらえたらと思った。私たちの暮らしは政治と直結しているのだから、、、。これからの谷津議員に期待している。（辻堂在住 渡部郁）



一般質問の概要



香害について

香害とは柔軟仕上げ剤や洗剤、ヘアケア剤、制汗スプレーなどの人工的で過剰な香りによって、頭痛やめまい、吐き気、思考力の低下等の健康被害を引き起こすもので、化学物質過敏症を誘発する原因の一つとされています。過剰な香りの合成香料はにおいの好き嫌いではありません。香料は空気に放出され、誰もが加害者、被害者になり得ます。神奈川ネットで香害アンケートを行った結果、「香り」について不快な思いをしたことのある人は8割を超えました。日本消費者連盟が実施した「香害110番」には、ファックス・メールを含めて213件の相談や意見が寄せられ、予想以上の反響がありました。

香りブーム

近年では、においを持続させるためにマイクロカプセルというポリウレタンのプラスチックの被膜を使って、繊維に絡み付け、割れることにより香りを発する製品まで出ています。国内製造者の柔軟仕上げ剤の販売量は、2008年の24.8万トンから2017年39.8万トンへ、販売金額は618億円から1136億円となっています。におい成分は、化学物質に由来し、家庭用品品質表示法の指定品目ではないため、成分表示義務がなく、特定することはできずに各社の企業秘密なのが現状です。

学校給食の白衣

学校給食の白衣は、週末に家庭に持ち帰り洗濯しています。市内の学校給食栄養士の集まりでは、香料の問題が話題となり、すでに保護者に配布する給食だよりに香料自粛のお願いを記載した学校もありました。藤沢市では、今後も引き続き、児童用白衣の洗濯において使用する柔軟剤等への配慮について、様々なお便りなどを通じて全校の保護者に周知を図るとの回答でした。

公共施設の環境づくり～化学物質過敏症

公共施設を訪れる市民の中には柔軟剤や合成洗剤の強い香りに症状が出てしまう市民がいます。不特定多数の市民に接する職員に対して香料自粛のマナー周知を図るとの回答でした。

各地の香料自粛の啓発活動～香料自粛のお願い

地方自治体によっては、公共施設に「香料自粛のお願い」ポスター作成、教育長が要請文書、さらに市民団体や患者団体、日本医師会のニュースでも注意喚起をおこなっています。藤沢市では、香害啓発のポスターやリーフレットはつくっていませんが、今後は国や県など関係機関と連携及び調整しながら対応を検討します。窓口は、藤沢市消費者センターがあり、適切なアドバイスを行なうとの回答でした。

現状と今後

日本消費者連盟や多くの団体が、香害をもたらす製品の規制を求める要望は、消費者庁、厚生労働省、企業や輸入業者におこなっています。それでも、なかなか進まないのが現状です。

市民の身近な地方自治体から、「香料自粛のお願い」をアピールすることは、安全で安心な環境づくりにつながります。今回は、藤沢市における現状把握がまだ不十分であったため、個別の細かい対応まで至りませんでした。今後も、市民の安全な環境づくり、とりわけ小さな子どもたちの環境づくりについて取り上げていくつもりです。